

新工場長 就任のあいさつ

平成29年4月1日付けで大田清掃工場長を拝命しました、東海林幸雄（しょうじ ゆきお）です。

地域の皆様には、日ごろより当工場の運営に関し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

早いもので平成26年9月にしゅん工し、今年で3周年を迎えます。この間大きなトラブルもなく、安定してごみ进行处理してまいりました。

これからも地域の皆様との信頼関係を大切に、安全で安定した工場運営に職員とともに取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



工場長 東海林 幸雄

第32回運営協議会を開催

平成29年7月11日（火）に第32回大田清掃工場運営協議会を大田区役所で開催しました。

清掃工場の安定操業には地域の方々のご理解とご協力が欠かせません。運営協議会ではプラントの操業状況や排ガス、排水、ダイオキシン類等の調査結果を報告するとともに、質疑応答や協議を重ねています。

その結果を円滑な工場運営に反映させています。

開催結果については、当組合のホームページで公表しています。



運営協議会の様子

放射能等測定結果

大田清掃工場では、排ガス・焼却灰等の放射能濃度及び敷地境界・灰処理設備等の空間放射線量率を定期的に測定しています。

右表は、平成29年1月から6月までの敷地境界の空間放射線量率の測定結果です。大田区が定期的に測定している区内の定点測定値と大きな差はありませんでした。排ガス・焼却灰等の放射能濃度等の測定結果については、当組合のホームページで公表しています。

空間放射線量率（平成29年）		
測定月	単位：μSv/h	
	敷地境界	大田区内
1月	0.04~0.08	0.05
2月	0.04~0.08	0.06
3月	0.05~0.08	0.05
4月	0.03~0.08	0.05
5月	0.04~0.07	0.05
6月	0.03~0.08	0.05

※地表の高さ1mでの測定結果です。

施設紹介 ～焼却設備編～



このコーナーでは、ごみの流れに沿って大田清掃工場の施設を紹介します。
今回は大田区公式PRキャラクターのはねぴょんと一緒に焼却設備を紹介します。



はねぴょんと大田清掃工場

☆どうしてごみを燃やすの？

ごみを燃やすことで、臭い成分を分解しています。また、ばい菌や害虫の発生を防ぎ、衛生的な生活環境に貢献しています。

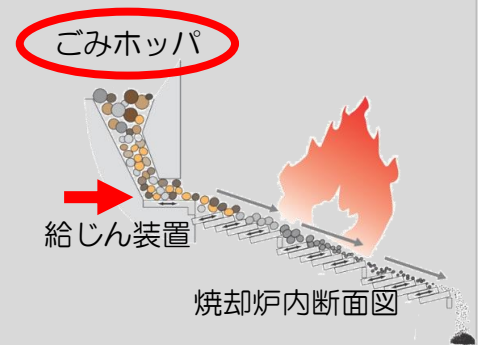
そのほかにも、燃やすことで容積が20分の1になり、さらに一部の焼却灰をセメントの原料として利用し、埋立処分場の延命化に寄与しています。

☆焼却炉の入口はどうなっているの？

ごみクレーンでつかんだごみは「ごみホッパ」に投入されます。ごみホッパは焼却炉の入口であり、投入されたごみは焼却炉内を密閉する役割があります。

そして、「給じん装置」がだるま落としのように、積み重なったごみの下部を押し出し炉内へと供給しています。

ほかにも、安全対策としてホッパ周りに散水装置が設置されており、ごみホッパ内で出火した場合に対応できるようになっています。



見学ルートに
設置されている
焼却炉内実物大モデル

☆焼却炉の中はどうなってるの？

大田清掃工場は「火格子（ストーカ）式」という方式を採用しており、火格子が前後に動くことでごみを押し出しながら乾燥、燃焼させ、ごみを処理しています。

燃焼状態を良くする工夫として、動く火格子と動かない火格子を交互に配置し、かたまり状のごみをほぐす構造になっています。

また、焼却炉内は800℃以上の高温に保たれており、燃やした際に発生するダイオキシン類などを抑制しています。

大田清掃工場は1日最大300トンのごみを燃やせる焼却炉が2基あり、1日で600トンのごみを処理することができます。



工場見学のお知らせ

大田清掃工場ではつぎのように工場見学を実施しています。(定期点検補修工事期間等を除く)

人数	実施日	実施時間
個人 9名以下	毎月第2土曜日	13:30~15:00
団体 10名以上	月曜日~金曜日(祝日を除く。)	9:30~11:00又は13:30~15:00

《見学のお申込み・お問合せ》

大田清掃工場 TEL03-3799-7555

受付時間：月曜日~土曜日 9:00~17:00

